高円寺と飯豊町の軌跡

平成16年に山形おきたま農業協同組合飯豊地区青年部が東京都内の小学校で稲作体験出前授業を企画し、それ以降年間数校で出前授業を開催してきました。その学校の一つ、杉並区立第四小学校の元PTA会長が高円寺純情商店街の専務理事を務める吉田善博さんでした。平成25年2月、吉田専務は高円寺純情商店街を表現するようなブランド商品を、飯豊町の物産を使用して開発してもらえるよう青年部に依頼したことで両者が繋がりを持ちました。このような町民と東京都民の交流がきっかけとなり、平成26年11月に高円寺にアンテナショップが誕生することになりました。

そこから交流は加速し、最近では令和3年度に「飯豊町旬菜×高円寺ハーヴェスト」、令和4年度に「高円寺ハーヴェストin屋台村いいでら」、令和5年度に「飯豊食材を使った料理教室」を町内で開催し、高円寺の方々が来町されました。また、高円寺に町職員が出向いて飯豊産の食材を販売したり、昨年度は飯豊中学校2年生が修学旅行で高円寺学園を訪れたりと、飯豊町からも高円寺に足を運び、双方の交流が現在も活発に行われています。

山形県飯豊町アンテナショップIIDE（東京都杉並区高円寺北2丁目7-6）
販売物：飯豊産の米、おにぎり、弁当、酒、菓子、加工品等

- 東京高円寺阿波おどり連協会所属 -

天狗連

1965年に結成、71年に徳島の平和連と姉妹連となり、今年めでたく60周年を迎えました。正調を基本に変幻自在なリズムを奏でる鳴り物、圧倒的な集団美を追求する優雅な女踊り、力強さとしなやかさを併せ持った団結感のある男踊り、真夏の熱い演舞をご期待ください。

華純連

華純連は「華」のある踊りを追求し、華の舞のようなフォーメーションは美しく圧巻。いつまでも「純粋」に阿波踊りを愛し続けるという信念のもと、100名超の連員で東京杉並区高円寺で活動しています。元気いっぱい笑顔溢れる演舞で飯豊町の夜を華やかに！ どうぞお楽しみください。

東京天水連

天水とは「天から降る水と阿波おどりさえあればよい」というほどの阿波おどり好きのこと。そうした仲間が集まり、東京天水連は今年結成40周年を迎えました。男踊りは威勢よく、個性豊かに。女踊りは気持ちを合わせ、凛とした踊りを。そして魂を込めて打ち込む、全身に響き渡るお囃子。皆様に「元気」と「笑顔」をお届けいたします！

- 獅子舞共演会 各神社紹介 -

熊野神社（添川）

例祭日
前夜祭 7月19日
例大祭 7月20日

宝永３年（約320年前）7月15日、当社建立と伝えられております。明治3年6月、紀州熊野大権現より分霊を勧請しました。古文書によれば「うくまん社」の記録があり、正式に建立された宝永3年より12年前に、石堂か何かで建てられていたものと推察されます。祭神「伊弉諾尊（イザナギノミコト）」は「古事記」によれば国生みの生産神なる故、農耕、商売繁盛の神として崇敬されております。尚、ご神体として古くよりお祀りしていた「阿弥陀如来像」は明治2年の神仏分離令により、現在、添川常福院に安置されております。

小白川神社

例祭日
前夜祭 8月16日
例大祭 8月17日

約900年前、延久3年に三重県、伊勢二見ヶ浦の猿田彦神社の御分霊を勧請し、小白川地区西側の大天伯山に祀ったと伝えられている。昭和35年同地区東側にあった一ノ宮神社と合祀し、小白川神社に改称した。五穀豊穣、無病息災、商売繁盛の神様として祀られている。

諏訪神社（萩生）

例祭日
前夜祭 8月16日
例大祭 8月17日

天正時代、木村越中の頭と申す人が信濃国より神霊を負い、萩生の地に諏訪小社を建立した。享保年中、後藤勘右エ門地内より神霊石尊を発見納め奉る。天保３年、正一位諏訪大明神を拝請。獅子頭を新調、村民あげて祭りを継続し、昭和44年NHK「ふるさとの歌まつり」長井会場で萩生諏訪神社の荒獅子祭として参加し、全国に放映されました。昭和60年、諏訪神社前夜祭神輿渡御行列が町の無形文化財の指定を受け、現在に至る。